



認知症のご本人と家族が豊かに暮らせるように
今こそ、看護の力が求められています

<https://cnspdf.jp/index.html>

潜在看護職※のための認知症ケア研修会

※応募条件は、現在、常勤として就業していない看護師の方、インターネットのwebサイトを閲覧できるかた、アンケートやインタビューにご協力いただける方

超高齢社会の日本では、今後さらに認知症の人が多くなることが予測されています。
現在、常勤で仕事をしていない看護師の皆様が、これまで培ってきた看護師のとしての様々なスキルや技術を
生かし、ご自分の生活や健康をまずは大事にしながら、認知症の人とご家族のために多様な支援活動に貢献して
いきませんか。

<2024年度 研究>

コロナ禍後の認知症の人と家族への継続的支援を担う

潜在看護職を活用した地域システムの創生

—潜在看護師への再教育プログラム実施評価（パイロットスタディ）—

研究代表者：東京慈恵会医科大学医学部看護学科

老年看護学 梶井文子

2024年9月

本研究を担当する研究者メンバー (9名)

学内外	区分	氏名	専門分野
学科内	研究代表者	梶井文子	老年看護学・看護栄養学
	分担研究者	佐藤紀子	看護職生涯発達学
	同上	白谷佳恵	地域看護学
	同上	井本由紀子	老年看護学
	同上	海老原樹恵	精神看護学
	同上	浅川翔子	成人看護学
第三看護 専門学校	同上	河野直美	老年看護学
	同上	那須詠子	老年看護学
学外	共同研究者	櫻井尚子	地域看護学

現在の共同研究機関

現在も他機関を募集予定

- ・東京慈恵会医科大学附属第三病院認知症疾患医療センター
役割 再教育プログラムにおける研修協力機関
- ・東京慈恵会医科大学地域連携看護学実践研究センター みんなの保健室
役割 再教育プログラムにおける研修協力機関
- ・狛江市地域包括支援センターこまえ苑
役割 再教育プログラムにおける研修協力機関

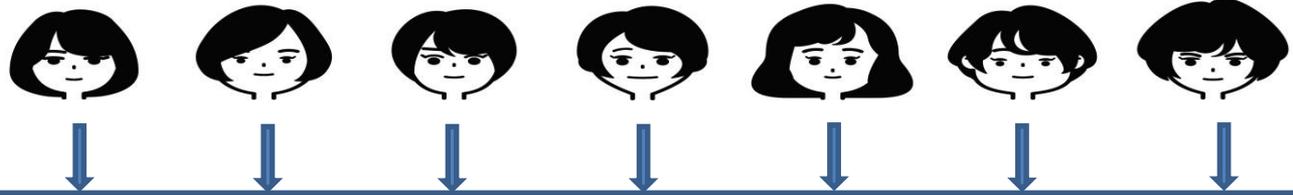
今回の研究の目的

1. 「潜在看護師再教育プログラム」を受講した潜在看護師が、プログラム受講の過程で実感できた種々な効果について明らかにする。
2. 潜在看護師の実践研修に協力した機関に潜在看護師の実践能力にかかわる調査を行い、再教育プログラムの効果を主観的・客観的に評価する。

以上から、本再教育プログラムの効果をパイロットスタディとして検証する。

再教育プログラムのイメージ図

潜在看護師の皆様
(再教育プログラム
受講希望者)



ステップ1
自宅学習と
大学での演習

認知症者と家族の支援に必要な教育・演習
(自宅から遠隔での自己学習, 演習等)
専用 e-learningシステム

希望する場所を自ら選択し、活動に入る

ステップ2
狛江市・
調布市等
での活動
の場
JANPセン
ター
(みんなの
保健室)での
活動



再教育プログラムの具体的内容と時期

1. e-ラーニングでの自宅学習プログラム(自分のペースで学習できます) 全員 11月～2月

内容	コンテンツ
I. 基本編	<ol style="list-style-type: none">1. 虚弱高齢者の心身の特徴2. 虚弱高齢者への看護3. 家族・ケアラー支援4. 多職種連携5. 認知症の病態・治療6. 認知症者への看護(パーソンセンタードケア)7. 介護保険制度、地域包括ケアシステム8. 生活の場における看護の役割9. アクティビティケアと看護10. 看護師の専門性とキャリア継続11. ユマニチュード12. 施設ケアにおける看護の役割
II. アドバンス編	<ol style="list-style-type: none">1. せん妄予防と看護2. BPSDと看護3. 疾患を有する認知症者の看護

1つのコンテンツは約15分～20分で、研究期間中は、繰り返し視聴できます

2. 遠隔(ZOOM)で行う演習プログラム 全員

1) 認知症VR (Virtual Reality) 演習

VR専用ゴーグルを装着して、認知症の人や家族の視点から作成されたVRコンテンツを視聴し、認知症の人や家族の立場になって考える演習

2) 合同学習会

一つのテーマについて参加者どうして意見交換し、学び合う会

3) 交流カフェ

研究参加者である潜在看護師が教育プログラムに参加に関わる思いや気づきなどを表出し合える会をつくり、各種アンケートに回答いただきます。上記1)2)の後に3)の後にいきます。

3. 見学・研修(希望や関心のある場所での研修) 1月以降 ご希望の方のみ

4. 随時個別相談 (電話やZOOMで、ご質問等に随時対応します)

研修会に参加いただくための準備

ご自宅の学習環境として、PCやタブレットがあり、インターネット接続が可能な環境がある方。

募集は10月から11月末まで。

研究参加のオリエンテーションはZOOMで行います。

詳細に日程は後日ご案内いたします。

- ・研究の具体的な方法の説明
- ・研究参加の同意書の記入
- ・e-ラーニングの使い方の説明
(実際にPCを用いて行います)
- ・再教育プログラムの演習日程

その他

皆様のご参加を待ちしております

【再教育プログラムの期間（調査の時間を含む）】

2024年11月受付～2025年3月

【研究協力の謝礼等】

再教育プログラム受講費用や教材費は無料です。

e-ラーニングの通信費用5000円や、

見学・研修の交通費の負担分として、5000円の謝礼をします。

【参加申し込み方法】

希望の方は、下記のQRコードの参加申し込みフォームにご入力ください。

追って、研究者よりご連絡を致します。

申込後にメール連絡が1週間ない場合には、下記にご連絡ください。

[電話 03-3430-8686](tel:03-3430-8686)内線2765

[メール kajii-kaken@jikei.ac.jp](mailto:kajii-kaken@jikei.ac.jp)

